



学校案内 **2020**

京都教育大学附属高等学校

SENIOR HIGH SCHOOL ATTACHED TO
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION



**Your choice,
Your future.
Make a difference today**

at Senior High School Attached to
Kyoto University of Education

世界にはばたく人の「知的空間」

—未来への芽を育む京都教育大学附属高等学校—

INDEX

授業の特徴	P.4
カリキュラム	P.6
SSHスーパーサイエンスハイスクール	P.8
年間スケジュール・学校生活・生徒自治会	P.10
課外活動	P.12
校内施設	P.14
進路指導・大学合格状況	P.16
附属高校Q & A・入試について	P.18

研究に裏付けられたわかる授業 高い進学実績と社会で活躍する卒業生 自主・自律を育み、互いを高めあう信頼関係 さらに視野の拡大 高い教養を育む大学との連携

わたしたちは、穏やかに自由な校風の中、あたり前のことが、あたり前にできる。そんな学校でありたいと願っています。

京都教育大学附属高等学校は、創立当時から変わることなく、生徒の自主性を重んじ、自律と敬愛の精神を育成する教育と指導を行い、高い知性、健康な体、豊かな情操の調和した人間の育成に努め、生徒の能力、適性、進路などに応じた教育を進めてきています。創立以来、そのような教育によって各界で活躍する多くの人材を輩出し、附属高校の自由で穏やかな校風と輝かしい伝統を生み出してきています。

附属高校は京都教育大学の附属高校としての強みを生かし、幅広い専門分野にわたって京都教育大学と連携して共同研究を行っています。そして、生徒が希望すれば、大学の実験・研究施設などを利用して自主的な研究活動を行うことができ、大学の研究者の指導を受けることも容易です。附属高校は、第1期から現在の第4期まで連続してスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の研究開発校の指定を受けて事業を展開してきています。このSSHの事業においても生徒の自主性を重んじて、生徒の自発的な学習・研究意欲を育成するとともに、希望する生徒が京都教育大学や他大学・研究所、英国の大学などにおいて優れた教育・研究を体験することができる機会を数多く設定しています。

京都教育大学は、このような附属高校の教育方針と教育・研究活動を応援するとともに、その活動を学部及び大学院研究科の教育・研究にも生かしていきたいと考えています。



京都教育大学学長
細川友秀

グローバル化が進む社会では、多種多様な考え方や価値観が存在し、容易には解決できない複雑な問題が数多く生じます。そのような問題に際しては、状況を整理・分析して課題を見出し、自ら進んで他人と協調・協働して、基本的知識を基に活用・応用して解決に向かう力、その行動をふり振り返り自己を高める力など、いわゆる「人間力」が必要となります。さらにこの人間力は、情報化が進み、膨大なデータベースに基づく、AIによる判断が増えることが予想されているこれからの社会においては、より一層、重要な資質・能力になると考えます。

本校では、創立以来、自主・自律の精神を校風とし、教員養成系大学の附属校として先進的な教育研究成果に基づきながら、確かな学力と豊かな人間性を育む教育活動を実践し、優秀な人材を社会に輩出してきました。近年ではその経験を活かし、SSHやSGHアソシエイトの指定を受けて、他の大学や研究機関、他国の高校生との連携もはかりながら、生徒の主體的、自律的参加を促す多種多様な課題研究を開発し、それらを教科学習から課外学習に至る様々な場面に設定したカリキュラムを通して、「人間力」の育成を目指しています。

高校生の時期は、自分と他者を相対化し、自己を客観的に見つめることにより、将来の目標を定め、それに向かってスタートする大切な時期です。高校生活を通じて、生徒一人ひとりが社会で輝けるための支援を全力で行っていきたいと考えています。



学校長
谷口和成

本校の校章は、橘の実が図案化されています。古来、橘の実は「非時香実（ときじくのかぐのこのみ）」とも呼ばれ、夏に実り、秋冬もお木にあって爽やかな香りを放ちます。橘の校章には、地に着いた研鑽による結実と、いつまでも変わらずに香気を放つ人間として社会に貢献できる人材を育てたいという本校の思いがこめられているのです。

そのような人材の育成にあたり、本校が特に大切にしていることは、まず土台となる授業での徹底的な基礎の習得です。いかなる発展も応用もこの土台抜きではあり得ないからです。「学び厭わず」の精神で、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。

次に、学びの姿勢の確立です。一つのことを学んでも、それだけに留まらず、さらに先にあるものに興味を抱き、他教科との関連も考えて、自ら学んでいく力、すなわち学びの設計力をもった生徒の育成を目指します。自らを豊かにし能力を高めるために、学びは高校卒業後も未長く続きます。だからこそ、高校時代に真摯な学びの姿勢を確立すること、それを醸し出す授業環境は最も重要事だと考えます。

「自ら課題を発見し・自ら学び・自ら考える」は、学問の本来のあり方です。このような力の涵養は、すべてを詰め込む型の教育では成し得ません。本校は、長年にわたり、学問の本義に照らして格調高く学ぶ姿勢の養成を堅持し続けているのです。



副校長
市田克利

国語

知的に、論理的に読み解き表現し、しかも豊かな感性を磨く



授業では、基礎力の充実を図ることは言うまでもありません。裾野の広いしっかりとした土台の上に、想像力・論理力の向上を目指し、そして発見の喜びを授業の中でともに味わいたいと思います。そのためにも、読む・書く・話す・聞く、バランスのとれた授業をします。詩や小説などの文学的文章、評論などの論理的文章、日本や中国の古典を読むときも同じです。また、受信と発信を豊かにを行い、理解力・表現力を高めます。進路を切り開いてゆく力が自然と培われます。

そのために、読む・書く・話す・聞く、バランスのとれた授業をします。詩や小説などの文学的文章、評論などの論理的文章、日本や中国の古典を読むときも同じです。また、受信と発信を豊かにを行い、理解力・表現力を高めます。進路を切り開いてゆく力が自然と培われます。

社会(地歴・公民)

社会探究の方法を大切に、知的好奇心を呼び起こす授業



社会科の授業では、地理・歴史・政治・経済・思想などさまざまな事象を取り上げ、多角的に考察を加えていきます。一見するとばらばらに見える多くの知識を扱うのですが、大切なのはそれらをつなぐ関連性を探究することなのです。そして、そのために必要な「調べる、加工・整理する、考える、話し合う、まとめる、発表する」といった能力を伸ばしていきます。

つなぐ関連性を探究することなのです。そして、そのために必要な「調べる、加工・整理する、考える、話し合う、まとめる、発表する」といった能力を伸ばしていきます。

理科

豊富な「実験・実習」、探究の過程を楽しむ科学

科学的に物事を捉え、考える力を養うことを大切にしています。標準単位数を上回って設置しているので、豊富な実験・実習・観察などを通して理解を深め、探究していく方法を身につける事ができるのももちろん、受験への対応も万全です。SSHの指定を受けてからは様々なノウハウを蓄積するとともに、多くの実験・分析機器を導入することができました。高度な内容はもちろん、従来の実験・実習がさらに理解しやすいものになりました。



高度な内容はもちろん、従来の実験・実習がさらに理解しやすいものになりました。

英語

高い英語運用能力と進路保障につながる英語力の育成

すべての授業で「読み」「聴き」「話し」「書く」の4技能をバランスよく伸ばします。確かな英語力の基礎となる文法力と国際社会で必須のコミュニケーション能力は1・2年生ですっきりと養成します。また、ALTとともに行う充実したライティング指導には定評があります。



本校生徒の優れた英語力は、全国レベルの実力テストや模擬テストでも十分に実証されています。

芸術(美術)

より自由な発想と豊かな表現のために

1年生では各領域について基礎的な事柄を学びます。2年生ではさらに発展的な内容を課題選択制のなかで取り組みます。特に2年生においては、自らが選んだ材料、技法を用いて、「何を、いかに」表現するのか、「なぜ」表現するのか、ということを考え制作に取り組むことでより自由な発想と豊かな表現を身につけます。



家庭

生活と科学の関係を楽しく学び自立した生活者になろう!!

さまざまな実習、実験、グループワーク、プレゼンテーションなどを通じて、現代社会のグローバル社会、多文化・環境共生社会において、家庭生活を科学的に認識し、生活の充実向上や社会の発展を図ろうとする実践的な態度を身につけていきます。



保健体育

よりよく生きる力をつけスポーツとの関わり方を学ぶ

「よりよく生きるためにはどうすべきか」という命題に対して、健康そのものについて考えたり、スポーツ文化との主体的な関わり方を学習する教科です。運動が得意な子も苦手な子も、また、ただ身体を使うだけでなく頭も使う、みんなが楽しめるのが体育です。



数学

バランスのとれた「基本と演習」の指導 スーパーサイエンスの研究成果を発展継承

授業では、基本を教科書で、演習を指定問題集でバランスよく学習します。教科書で理解した定義、定理、例などを演習によって定着するように進めます。高難度の問題の考え方や解法も指導しますので、自分で解けるようになり、難関大学へ合格する力も身につけていきます。また、SSHの研究成果を発展継承した授業は、考える力の育成にも役立っています。



図1 演習指導の様子

情報

情報の科学的な理解と 問題解決能力の育成をテーマに

情報のデジタル化、コンピュータやネットワークの仕組みなどについて実習を行いながら学習していきます。ソフトウェアの活用方法を身につけるだけでなく、コンピュータを効果的に活用し、問題解決の方法について理解を高めることを目標としています。演習では、教育用ロボットを活用した制御プログラミング演習や、Webコンテンツの制作などを行います。



松井和奏 さん

2019年卒業・一橋大学 社会学部



附属高校では生徒の学習意欲、自主性が重んじられる授業が行われています。授業や定期試験を通して知識や教養を着実に蓄えると同時に、自発的に考えて行動する力も身につきます。例えば、課題研究という授業では生徒が自らテーマや仮説を考え、それに対して筋道を立てて考察を重ねます。温泉卵の作り方であったり、私の班の場合では用紙のサイズ（A4,B2など）の規則性を予測、調査したりしていました。本来なら、インターネットで調べればすぐにたどり着けるものです。しかし、あえてそうはせず、生徒たちだけで結論を導く活動を行っていました。答えが与えられるのを待つのではなく、自分の力で導きだす能力が養われる授業でした。このように、仮説を立て、調査や検証を踏まえて結論を導き、発表を行う授業を通して、私は能動的に学ぶ大切さを知りました。受け身な授業内容ばかりでなく、こうした生徒が積極的に活動することのできる環境があることは魅力の一つだと思います。

また、授業や定期試験に関することはもちろん、英検などの資格の取得や受験勉強においても、先生方からの丁寧な指導が頂けることも魅力の一つだと思います。私自身、英語の資格を取る際、大学入試対策をする際には、担当の先生方をお願いして授業外でも個別的に相談に乗ってもらっていました。こうした、自分のやるべき事、やりたいことに励むそれぞれの生徒に応じた学習をサポートしてくれる環境も整っています。

私は、附属高校は生徒一人一人に合った学び方ができる学校だと思っています。強制される学びではなく、自由な、自分が必要とする学びというものをすることができる場です。これから、社会がとめどなく変化していく中で、既存の答えを与えられるのを待つだけで良いのでしょうか。ぜひ皆さんには、自分のための学びを意識しながら自分で積極的に考え、やりたいことに励む、豊かな青春をこの附属高校で送ってほしいと願います。

教科・教員の研究テーマ例

- ・古典読解力の向上を目指した授業の研究
- ・古典中国語文法に基づく教材研究法の構築
- ・古典授業における連歌の実践
- ・言葉の関係性に基づく評論文の論理的読解と要約指導の実践開発
- ・「地理総合」「歴史総合」「公共」を踏まえたSGH研究
- ・「歴史総合」における文献・画像史料の教材化
- ・丘陵植生の遷移と教材化—二次林の状況理解を中心として—
- ・国際理解を深める授業実践の研究
- ・数理探究における折り紙数学の基礎研究
- ・三角関数等の単元導入方法の研究—グラフ関数電卓の利用—
- ・数学における論理的思考力と創造力の育成
- ・入試問題解説におけるICTおよびグループワーク利用
- ・トータルサイエンスにおける科目融合領域の開発
- ・ICTを活用したブレンディッドラーニングの展開
- ・アナログ的手法とデジタル的手法を用いた物理授業—実験手法の開発—
- ・クリティカル・シンキングを採り入れた英語授業の確立
- ・英語における読解力と作文力を統合したアウトプット活動
- ・アクティブラーニングによる保健授業の実践
- ・体育における視聴覚機器の利用方法の研究
- ・情報科におけるデータサイエンスの導入
- ・PCとタブレット端末を接続してのドローイング授業の研究・実践
- ・生涯的視野に立った青年期の美術科教育の試み—諸外国の美術教育との比較を視野に—
- ・「共生社会」の視点が活かされる授業開発—家庭科の観点から—

平成31年度入学生教育課程

1年 すべての可能性に応じる学習を 共通のカリキュラムで共通のクラス

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
国語総合					世界史 B			現代社会		数理基礎 a ※			数理基礎 β ※			体育		保健	芸術 I		コミュニケーション英語 I		グローバル英語 I ※		トータルサイエンス ※			課題研究 B ※	インフォメーションサイエンス ※		H R		

2・3年 興味・関心・進路希望に応じた2つのコース

サイエンスコース (S) 自然科学系の科目を重点的に学習し、SSHの特色ある科目にも積極的に取り組みます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代文 B		古典 B		地理 B		数理探究 I a ※			数理探究 I β ※			テクニカルサイエンス ※ 物質 生命 エネルギー			課題研究 A ※		体育		保健	芸術 I	コミュニケーション英語 II			グローバル英語 II ※		ヒューマンライフサイエンス ※		H R					

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代文 B		古典 B		地理 B		体育			コミュニケーション英語 III			グローバル英語 III ※		課題研究 S1 ※	シンキングサイエンス ※ 物質 生命 エネルギー			課題研究 S2 ※	数理探究 II ※ 数学演習 β			H R		進学補習 (国・社・数・理・英)									

グローバルコース (G) 人文科学系の科目を重点的に学習し、SSHの探究科目にも取り組みます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代文 B		古典 B		古典探究 I ※		世界史 B		日本史 B			数学 II		数学 B		アースサイエンス ※		体育		保健	芸術 I	コミュニケーション英語 II			グローバル英語 II ※		英語総合 I ※	ヒューマンライフサイエンス ※		H R				

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
現代文 B		古典 B		古典探究 II ※		歴史探究 ※ 日本史または世界史			体育			コミュニケーション英語 III			グローバル英語 III ※		英語総合 II ※	ユニバーサルサイエンス ※ 生物 地学		政治経済または漢文演習		数学演習 a または数学演習 β			倫理英語演習 国語表現のうち1つ		H R		進学補習 (国・社・数・理・英)				

- このカリキュラムは、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) として、学習指導要領によらないものであることが文部科学省より認められています。
- ※印が付いた科目は、SSHに関わる学校設定科目です (次ページ参照)

さらに 3年生での自由選択科目：3年生の ← → ゾーンでの科目は自らの進路希望に応じて選択できます。

3年生での7限進学補習：3年生の [] で、進路実現に向けて進学補習を選択できます。

時間割例

1年

	月	火	水	木	金
1	国語総合	グローバル英語 I	現代社会	コミュニケーション英語 I	グローバル英語 I
2	コミュニケーション英語 I	数理基礎 β		数理基礎 β	数理基礎 a
3	トータルサイエンス	世界史 B	数理基礎 a	国語総合	音楽 I
4			コミュニケーション英語 I	インフォメーションサイエンス	
5	グローバル英語 I	課題研究 ベーシック	保健	トータルサイエンス	国語総合
6	国語総合	体育	国語総合	ロングホームルーム	
7	インフォメーションサイエンス		数理基礎 β	数理基礎 a	

2年 (Gコース)

	月	火	水	木	金
1	コミュニケーション英語 II	コミュニケーション英語 II	日本史 B	書道 I	世界史 B
2	保健	古典 B		古典探究 I	ヒューマンライフサイエンス
3	アースサイエンス	数学 II	コミュニケーション英語 II	日本史 B	体育
4			グローバル英語 II	現代文 B	
5	世界史 B	グローバル英語 II	数学 B	現代文 B	ロングホームルーム
6	現代文 B	古典探究 I		数学 II	ロングホームルーム
7	古典 B	英語総合 I	ヒューマンライフサイエンス	数学 B	

3年 (Sコース)

	月	火	水	木	金
1	数理探究 II	シンキングサイエンス (生命)	数理探究 II	シンキングサイエンス (生命)	数理探究 II
2				課題研究 S2	
3	体育	古典 B	コミュニケーション英語 III	現代文 B	シンキングサイエンス (物質)
4		グローバル英語 III		コミュニケーション英語 III	
5	課題研究 S1	地理 B	現代文 B	古典 B	地理 B
6	シンキングサイエンス (物質)		体育	グローバル英語 III	ロングホームルーム
7	化学 (補習)	英語 (補習)	数学 (補習)	地理 (補習)	

【理科】

トータルサイエンス

理科4領域（物質・生命・エネルギー・地球）の基礎的・基本的事項の定着とともに、領域のまたがる内容について領域横断的な理解を深め、多角的なものの方・考え方を身に付けていきます。「化学基礎」、「生物基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」の学習内容を含みます。

テクニカルサイエンス

物質・生命・エネルギーの各領域における基本的事項の習得および発展的な内容の理解とともに、生徒自らが研究課題ならびに問題解決の仮説を設定できる力を身に付けていきます。「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「物理基礎・物理」の内容を含みます。

シンキングサイエンス

「テクニカルサイエンス」において、自ら設定した研究課題ならびに問題解決の仮説を実験などで検証できるよう、物質・生命・エネルギーの各領域におけるより専門的な探究を行います。

アースサイエンス

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、地学的に探究する能力と態度、科学的な見方や考え方を身に付けていきます。「地学基礎」の内容を含みます。

ユニバーサルサイエンス

日常生活や社会との関連を図りながら、生命や地球への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学のおよび地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的な見方や考え方を身に付けていきます。

課題研究B（ベーシック）

「トータルサイエンス」の授業内容を踏まえて、生活に密着した科学現象についてのいくつかのテーマからグループで選択し、総合的な科学の知識をもとにして探究活動を進めていきます。

課題研究A（アドバンス）

「テクニカルサイエンス」の授業を踏まえて、将来自分が研究したい分野のテーマ設定や仮説設定を行い、仮説の検証を中心に課題研究を進めていきます。

課題研究S（スーパー）

「シンキングサイエンス」の授業内容を踏まえ、2年生の課題研究活動で設定した研究テーマ仮説にしたがって、課題研究を行っていきます。

【数学】

数理基礎

2次関数、三角比、確率統計、整数論について、いろいろな分野に応用されるその定義の原点から応用例に多くふれていきます。「数学Ⅰ」「数学A」の学習内容を含みます。

数理探究Ⅰ・Ⅱ

微分積分、有限と無限、三角関数、指数対数、微分積分、数列、ベクトルについて、いろいろな分野に応用されるその定義の原点から応用例に多くふれていきます。「数学Ⅱ」「数学B」「数学Ⅲ」の学習内容を含みます。

【英語】

英語総合Ⅰ・Ⅱ

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や相手の意向などを的確に理解したり、自分の考えなどを適切に表現したりする実践的コミュニケーション能力を身に付けていきます。

グローバル英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

グローバルな視点から科学を捉える姿勢や英語でのサイエンスコミュニケーションに必要な英語力を育成していきます。科学に関する口頭発表や質疑応答、論文作成の方法などを、基礎から適宜導入していきます。

【国語】

古典探究Ⅰ・Ⅱ

古典の基本的事項を理解し、内容を正確に把握する力や、作品に描かれた世界・時代・生活について科学的に調査、検証する力を身に付けていきます。また、探究の成果をまとめて伝え合うことにより、表現力も磨いていきます。

【地理歴史】

歴史探究

日本史・世界史において根拠となる史料を読み解き、導きだされた事実を論理的に構築していきます。生徒自ら検討できる能力を体得するとともに、必要となる分析力・考察力・思考力などを身に付けていきます。

【情報】

インフォメーションサイエンス

「情報の科学」の各分野に関する基礎的な知識・技術を踏まえ、創造的な能力、科学的な考察力を養うとともに、それらを協働・共生を通じて主体的に活用できる力を身に付けていきます。

【家庭】

ヒューマンライフサイエンス

「家庭総合」の学習を基に、現代の家庭生活を科学的に認識し、実験・学習・課題学習などを通して、家庭や地域の課題に対して問題解決を行う力や実践的な態度を身に付けていきます。

SSH

SUPER SCIENCE HIGH SCHOOL スーパーサイエンスハイスクール

SSH 4期連続指定

第1期 平成14～16年度(2002～2004年度)

第2期 平成17～21年度(2005～2009年度)

第3期 平成22～26年度(2010～2014年度)

第4期 平成27～31年度(2015～2019年度)

科学技術イノベーション創出

「kyo²サイエンスプログラム」

科学技術イノベーションが要請される今、社会的課題に対して創造的な解決策により、社会に変革を起こすことができる人材が求められています。それには、幅広い知識の融合と深化によって自由な発想を育み、他者との協働を通じてリーダーシップを発揮し、

より深化した科学的体験に挑戦して、科学技術の新たな価値を創造する必要があります。

本校では科学技術イノベーション創出のための人材育成を目的として、「kyo²サイエンスプログラム」を実施しています。全学年の生徒を対象として、放課後や休日に、本校・大学・研究所などでの多様な活動を通じて、知識の融合と深化を図り、海外を含む研究者や他校の高校生との交流により協働する力を体得します。その経験は、新たな価値を創造するための原動力となり、在校中のみならず、卒業後においても社会で活躍するための確かな財産となります。

SUPER SCIENCE CLUB スーパーサイエンスクラブ (略称 SSC)

選ぶのはあなた。校内だけでなく大学・研究所などに出かけ、海外の研究者・高校生とも交流。

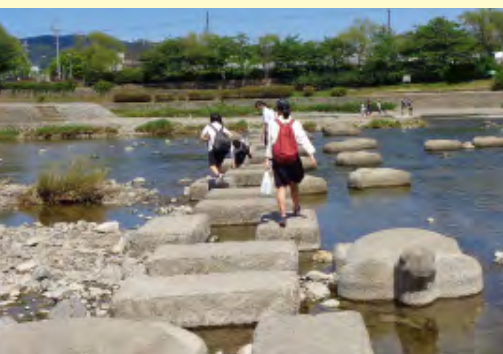


製鉄所見学

真っ赤に熱せられた鉄塊が、目の前を流れていく様子は圧巻です。想像以上の熱気に圧倒されます。

研究室訪問

京都大学(桂・宇治・吉田キャンパス)などを訪ねて、講義を受けたり実験実習を行います。



地理クラブ

地形図読図演習やフィールドワークを通して、地域を見る目を養いながら日本地理学会などにも参加しています。



化学クラブ

シクロデキストリンを題材とした研究活動を行っています。成果をSSH全国大会や学会などで発表しています。



臨海実習

顕微鏡や孵化して泳ぎ出すウニの受精卵を見ることができ、生命の不思議と素晴らしさを実感できる充実の2泊3日です。



カミオカンデ研修

スーパーカミオカンデ・カムランドの施設見学や砂防・地質・天体観測などの研修を行います。

筑波サイエンスワークショップ

筑波学研都市で、他校生とともに最先端の科学をテーマに実験を行い、互いに学んだことを発表します。



日英サイエンスワークショップ

近隣のSSH校などとイギリスを訪れ、現地の高校生と科学テーマ別に共同研究を行い、最終日に英語で成果発表を行います。(日本と英国共同で隔年開催)。



古典の世界を科学する

古典に登場する鏡や白粉などを古文読解・グローバル・科学の視点から解き明かします。

その他のSSC活動(例)

- シロアリを知ろう
- DNA 鑑定と PCR 法
- ショウジョウバエの突然変異体
- 発酵の科学
- 「英語でプレゼンテーション」演習
- イギリスの物理授業体験
- 熱を知ろう 電気を知ろう
- 情報クラブ
- 数学クラブ
- SSH 全国生徒発表会

吉田那沙 さん
2019年卒業・京都大学 総合人間学部



私は、高校生になったばかりの頃、「自分の好きなこと」や「将来やりたいこと」が見つからず、悩んでいました。そのため、いろいろな経験をして視野を広げようと思い、積極的に SSC 活動に参加しました。その中で、特に印象深かった2つの活動について紹介します。

1つ目は、京都大学舞鶴水産実験所での臨海実習です。臨海実習では、顕微鏡を用いたムラサキウニの発生観察、シュノーケリングによる水生生物の観察、魚類解剖・調理実習などを行いました。実験室での研究とフィールドワークを通じての研究をどちらも体験できただけでなく、舞鶴水産実験所の先生や学生さんのお話を聞くことができ、研究に対するイメージが湧きました。

2つ目は、日英サイエンスワークショップです。日英SWでは、イギリスの生徒と日本の生徒が約5日間寝食をともにし、グループごとに大学の研究室で実習をしました。実習・発表を通して、英語でのコミュニケーション能力が少し向上しただけでなく、考察の深め方やわかりやすい発表の仕方を学ぶことができました。

実習の他には、文化交流イベントをしたり、宇治川オープンラボラトリーを訪問したりしました。その中で、他のグループの子とも仲良くなることができ、他校の生徒やイギリスの生徒とたくさん話すことができました。様々な人の様々な考えに触れ、刺激を受けました。

私は、これらの SSC 活動を通して、異なる文化や価値観を持つ人と会話する中でお互いの考えが深まっていく楽しさを知りました。そのため、大学では色々な考えを持つ人と知り合いたいと思い、志望大学を決めました。その結果、様々な目標や考えを持つ友達に恵まれ、楽しい大学生活を送っています。

みなさんも、色々な SSC 活動に参加し、自分の好きなことをみつけてください。

4
始業式
入学式
新入生オリエンテーション
新入生歓迎会
前期立会演説会



5
生徒総会
中間テスト

創立記念日
遠足
人権学習
第1回学校説明会
プレオープンスクール
(附属中学対象)
研修旅行(2年・北海道)

8
全国 SSH 発表会
夏期進学補習
三者面談

9
文化祭
第2回学校説明会
オープンスクール

1
連絡進学入試
厚生行事
センター・二次対策特別授業

2
文化行事
一般中学入試
高大連携行事
(京都教育大学)
二次対策補習・個別指導
SSH SGH-A 発表会

7
期末テスト
SSH 臨海実習
夏期進学補習
SSH 日英サイエンスワークショップ
(本校幹事校)
三者面談

10
後期立会演説会
中間テスト
面談週間
生徒総会

11
人権学習
入試説明会
スポーツデー

3
卒業式
1・2 年学年末テスト
生徒総会
春期進学補習

12
1・2 年期末テスト
3 年学年末テスト
冬期進学補習
SSH 筑波サイエンスワークショップ
(本校幹事校)





1限 8:30~9:20

2限 9:30~10:20

3限 10:30~11:20

4限 11:30~12:20

SHR
13:05~13:20
(ショートホームルーム・清掃)

13:30~14:20

14:30~15:20

15:30~16:20

LUNCH TIME
12:20~13:05

AFTER SCHOOL
18:30 (4月~10月)
18:00 (11月~3月)



佐々木 葵 くん
2018年度 後期 生徒自治会執行委員長



附属高校最大の魅力は、高校生活を自分で好きなように創り上げることができるということです。部活動はもちろん、SSC活動や本校ならではの行事など、高校生活を彩り豊かにする選択肢がたくさんあります。

たとえば文化祭。この行事では学年ごとに映画作り、演劇、パフォーマンスなど取り組む内容こそ異なりますが、すべて企画から実行までほとんどすべてを生徒のみで行います。毎年、一年生だったら映画製作ですが、どのクラスも自分たちの映画を良いものにしようと放課後まで残って撮影に取り組んでいます。本校の数ある行事の中でも、文化祭は生徒一人一人の個性が表現できる行事だと思います。

また厚生行事、文化行事ではおたべ作りや、消防士の方の指導のもとで放水体験をしたりしました。これらの行事も普段なかなか体験できないことを体験できる機会であると思います。

このように附属高校はとても「自由」な高校です。しかし、この「自由」とは何でも好き勝手にやってくれ、という放任ではありません。自分が何をしたいのか、どうすべきなのかを自分で考え、実行することのできる学校である、ということであると思います。

附属高校ではやりたい事に挑戦でき、自主自律の精神を育むことができます。

生徒自治会

生徒の自主的な運営による活動

学校の環境改善への提案や取り組み

信頼関係で成り立つ
リーダーシップとフォローシップ

クラブ予算など
生徒自治会予算の決定

様々な行事の運営・企画
新入生歓迎会・生徒総会・立会演説会・
文化祭・体育祭
スポッテデー・文化行事・厚生行事

体育系クラブ

男子テニス部

僕たちは「考えるテニス」を目指しています。自分たちに何が必要か、どこをより強化すべきか、ということ自分たちで考え、練習時間が他校より限られている分、より効率的な練習を計画し取り組んでいます。

ソフトテニス部

近畿大会出場を目標に、日々練習を行っています。平日3日と土日どちらか1日と週4日の限られた練習時間ですが、練習中は集中し技術の向上に向け頑張っています。練習試合や合宿遠征なども行い、男女楽しく活動しています。

男子バレーボール部

府大会出場に向けて練習しています。日々の基礎練習はもちろん、OBの方々が来られて教えてくださったり、練習試合によるチーム力の底上げや、夏休みには合宿も行っています。

女子テニス部

1回でも多く試合に勝てるように、日々練習しています。初心者の部員も多く、経験者の部員や顧問の先生からの助言を頼りに少しずつ上達しています。心身共に成長できる部活を目指して頑張っています。

サッカー部

試合で勝つために、チーム全員が互いに高め合いながら、自分たちが目指すサッカーに対する共通の意識を持って日々練習に取り組んでいます。また、部員同士の仲がよく、互いに信頼できるような仲間を作ることができます。

女子バレーボール部

毎日の練習を大切に、自分たちで高め合いながら、初心者も経験者もチーム一丸となって頑張っています。練習試合を含め、試合がたくさんあり、多くの学校と対戦できます。夏には合宿もあります。

男子バスケットボール部

一年に6つの大会があり、各大会で良い成績を収められるようにクラブ内で切磋琢磨しあい練習しています。バスケだけでなく、多くのことを学ぶことができ、とても充実している部活です。

水泳部

夏期に京都教育大学のプールを借りて練習を行い、冬期は高校で陸上トレーニングを行っています。個々の実力はまちまちなので、個人のレベルに合った練習で各自の記録向上を目指します。

剣道部

剣道といえば、きつい、暑苦しい、などの印象を持っている人が多いと思いますが、剣道にはたくさんの魅力があると思います。また剣道は、礼に始まり礼に終わるといわれ、礼儀を学ぶこともできます。

女子バスケットボール部

ひとつでも多くの試合に勝てるように、日々練習に励んでいます。日曜日にはOGの方が来て下さるので、少ない人数でも試合形式の実践的な練習を行うことができます。

陸上競技部

高校や大学のグラウンドで、それぞれの専門種目に分かれて走ったり跳んだり投げたりしています。学年の壁もあまり感じさせない、とても仲の良い部活です。

野球部

監督・顧問の先生の指導の下、日々練習を重ねています。また、技術に加え教育の一環としての学生野球ということ意識して、活動をしています。

文化系クラブ・同好会

放送部

普段は昼休みの音楽放送や、朗読、アナウンスの発声基礎練習、動画編集など行っています。NHK放送コンテストや高校放送フェスティバルなど、それぞれが自分の発表の場を目指し日々精進しています。

合唱部

合唱曲をはじめ、J-popや洋楽などに取り組んでいます。また、最近ではダンスも取り入れています。学内のコンサートや文化祭での発表、コンクール出場、特別支援学校への訪問演奏なども行っています。

電子工学部

ロボット製作、そのための電子回路の理解や設計、プログラミング、機械工作の技術向上に励んでいます。また、シミュレーションソフトや動画編集ソフトを用いた空間演出に取り組んでいます。

美術部

男女ともに各自の決めた課題である作品に取り組みます。クラブの中には兼部している人も多いですが、美術室は訪れると普段の忙しさを忘れて自己の美的センスを磨くことができます。

軽音楽同好会

年に数回のライブや文化祭に向けて、日々練習に励んでいます。部員は高校から楽器を始めた人がほとんどです。ライブの企画運営も自分達で行うので、演奏技術だけでなく、裏方作業も学べます。

茶道部

裏千家の先生が講師として来てくださりお作法を教えてください。文化祭ではお茶会を開き、たくさんの人たちにお抹茶を楽しんでもらっています。文化行事にも参加します。

華道部

季節に合わせて色んなお花を生けて楽しめます。講師の先生に教えていただきます。兼部しやすく、運動部と兼部している部員も多くいます。

将棋部

楽しく、のんびりをモットーに、大会での成績には頓着せず、自己研鑽を目的とした活動を中心に取り組んでいます。なごやかな居心地のよい部です。

写真部

休日に全員で校外に写真を撮りに行き、各自で撮った写真を文化祭で展示を行っています。活動は部員の予定に合わせて活動するので、兼部がしやすい部活です。



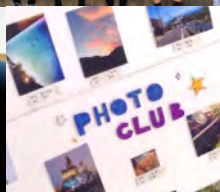
バドミントン部

男女合同で楽しく仲良く活動しています。バドミントン部は8割以上が初心者から始めているので、今までバドミントンをしたことのないような人でも、先輩やコーチが優しく指導してくれるので、気軽に始められます。



卓球部

学年や性別を問わず仲がとても良い部活です。また、経験者だけでなく高校から卓球を始めた人も楽しんで活動できる部でもあります。自分たちで工夫しながら大会に向けて日々それぞれの練習に励んでいます。



2018年度 活動実績



【陸上競技部】

●第13回 京都府国立・公立高等学校陸上競技対校選手権大会 男子400m3位、女子400m4位

【水泳部】

●平成30年度 京都府高等学校選手権水泳競技大会 兼 近畿高等学校選手権水泳競技大会 京都府予選会 女子200m平泳ぎ4位 女子800mフリーリレー8位 (近畿大会出場)

【サッカー部】

●第71回 京都府高等学校 総合体育大会 サッカーの部 Bブロック優勝
●第7回 京都府高校サッカー 1年生大会 アンダー16大会 京都府ベスト8

【男子バレーボール部】

●第37回 京都市立高等学校 バレーボール選手権大会 優勝

【電子工学部】

●第10回 国際ナノアプリケーションコンテスト (iCAN 2019) 日本国内予選出場

【その他】

- 平成30年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会 (化学クラブ) 生徒投票賞
- 第35回 京都府高等学校総合文化祭自然科学部門 (化学クラブ) 審査員特別賞 (全国総合文化祭出場)
- 平成30年度「税に関する高校生の作文」大阪国税局長賞





天文台



ホームルーム教室



庭園



中庭



化学実験室



グラウンド



多目的ホール



トレーニングルーム



茶室(常香庵)



テニスコートと体育館



豊かな自然



イラスト●中村 潤さん(美術部 2004年卒業)



和室



図書室



図書室（書庫）



メディアセンター



展示ホール



シャワールーム



生徒昇降口



生徒昇降口

進路指導計画

	月	1年	2年	3年
1学期	4	朝学習（1～3学期）		
		進路学習（1学期 2～3回）		進路ガイダンスI
	5	模擬試験（実力テスト）		平常進学補習（1～2学期）
				模擬試験
	6	進路・カリキュラム説明会		模擬試験
				進路ガイダンスII
	7			進路講演会
夏休み		夏期進学補習（5日間）	夏期進学補習（10日間）	夏期進学補習（10日間）
			模擬試験	
	夏期進学補習（5日間）			
	模擬試験（実力テスト）			
2学期	9	進路学習（2学期 3～4回）		進路ガイダンスIII
				進路ガイダンスIV
	10	カリキュラム説明会		模擬試験
				模擬試験
	11	模擬試験（実力テスト）		模擬試験
				模擬面接
12		英語 民間資格試験対策		
冬休み	1	冬期進学補習		
3学期	2	進路学習（3学期 2～3回）		進路ガイダンスV
				センター・二次対策特別授業
	模擬試験（実力テスト）		センター試験	
2	高大連携行事		二次対策補習・個別指導	
			模擬面接	
3			国公立大入試	
	春休み	春期進学補習		

大学名	2019年度入試		
	新卒	旧卒	計
帯広畜産大学	1		1
千葉大学	1		1
お茶の水女子大学	1		1
一橋大学	1		1
東京海洋大学		1	1
東京学芸大学	1		1
東京芸術大学	1		1
信州大学	2		2
名古屋工業大学	1		1
名古屋大学		1	1
福井大学		2	2
三重大学	1		1
滋賀医科大学	1		1
滋賀大学	1		1
京都教育大学	1	1	2
京都工芸繊維大学	4	1	5
京都大学	3	1	4
大阪教育大学	1		1
大阪大学	3	2	5
神戸大学	4	1	5
奈良女子大学	1		1
和歌山大学	1		1
鳥取大学		3	3
広島大学	2		2
山口大学	1		1
愛媛大学		1	1
高知大学	1		1
九州工業大学	1		1
宮崎大学	1		1
琉球大学	1		1
国立大学計	37	14	51

大学名	2019年度入試		
	新卒	旧卒	計
札幌市立大学	1		1
首都大学東京	1		1
名古屋市立大学	1		1
滋賀県立大学		1	1
京都市立芸術大学		1	1
京都府立医科大学	2		2
京都府立大学	2		2
大阪市立大学	2		2
大阪府立大学	1	1	2
和歌山県立医科大学		1	1
高知県立大学	1		1
九州歯科大学		1	1
公立大学計	11	5	16

大学名	2019年度入試		
	新卒	旧卒	計
慶應義塾大学	1	1	2
国際基督教大学	1		1
順天堂大学	1		1
上智大学	1		1
早稲田大学	2		2
中央大学	2	1	3
東京農業大学	2		2
東京理科大学	3	3	6
日本獣医畜産大学	1		1
日本大学	1		1
法政大学	1		1
明治大学	1	2	3
立教大学	2		2
金沢医科大学		1	1
京都産業大学	11	1	12
京都女子大学	5	1	6
京都薬科大学	2	1	3
同志社女子大学	4		4
同志社大学	20	6	26
立命館大学	18	13	31
龍谷大学	8	9	17
佛光大学	5	1	6
関西外国語大学	3		3
関西大学	15	10	25
近畿大学	17	20	37
大阪工業大学	3	2	5
大阪薬科大学	1		1
桃山学院大学	2		2
関西学院大学	10		10
川崎医科大学	1		1
その他の私立大学	36	4	40
私立大学計	180	76	256

大学名	2019年度入試		
	新卒	旧卒	計
水産大学校		1	1
防衛大学校	1	1	2
大学校計	1	2	3

大学名	2019年度入試		
	新卒	旧卒	計
高知大学	1		1
福井大学		1	1
和歌山県立医科大学		1	1
金沢医科大学		1	1
川崎医科大学	1		1
医学部医学科計	2	3	5

※医学部医学科の数字は国公立大学及び私立大学の数字に含まれています。 17

受験生の皆さんから寄せられた 質問にお答えします。

1. 中学校の学習内容以外の出題がありますか？

ありません。

本校の入試問題は中学校の学習指導要領の範囲内で作成しています。中学校の授業をまじめにきちんと学習した人を適正に評価したいと考えています。なお、入試説明会では各教科の問題作成者による入試解説および対策についての説明を行う予定です。(日程につきましてはP.19の【入試カレンダー】を参照してください)

3. 購買はありますか？

パンやおにぎり、弁当などの食品や、文房具などを販売しています。ただし、昼休みをみの営業となっています。

5. 自習室はありますか？

図書室は朝の時間や、昼休み、放課後などの時間に自学自習のスペースとして開放されています。

また、地学教室(約80席)は朝の7時50分から8時20分まで利用することができ、自学自習をするなどの「朝学習」を行うことができます。

7. 校内のICT環境はどうなっていますか？

普通教室にパソコンと液晶プロジェクタが設置されていて、教員が授業で利用するだけでなく、パソコンを生徒が自由に利用することができます。

コンピュータ教室やCALL教室にはそれぞれ43台のパソコンと液晶プロジェクタが設置されていて、授業の教材提示や1人1台でコンピュータの演習が行われています。コンピュータ教室は放課後に利用することもできます。インターネットは上記コンピュータの全てで利用することができます。

2. SSH指定校ということですが、

人文科学系の生徒にはどのような関わりがありますか？

本校のSSHは、サイエンスコースに限らず全校生徒を対象としています。21世紀を生き抜く若者にとって、答えのない課題に対応していく力がより求められています。そのため、特定の専門分野にとらわれない幅広い自由な発想を持ち、創造的な解決策を構築することによって、社会に変革を起こすことができる人材を育成していく必要があります。本校のSSHカリキュラムは、すべての教科で課題解決型学習(アクティブ・ラーニング)を取り入れ、こういった人材の育成を目指しています。これは、グローバルコースの生徒にとっても大いに関係することだと考えています。

4. 図書室について教えてください。

蔵書は約5万5千冊で、新書・文庫本をはじめ、辞典・事典・辞書や参考書・赤本、洋書などが所蔵されていて、閲覧・貸し出しが可能です(雑誌など一部を除く)、座席は約80席あり、図書閲覧や自学自習に利用することができます。なお、インターネット端末としてのパソコンが4台設置されており情報検索に利用することができます。

6. クラブ活動について教えてください。

平日と土曜または日曜日の6日間のうち4日間を限度としてクラブ活動を行っています。原則として、土曜日・日曜日に連続してクラブ活動をすることは認めていません。ただし、公式戦や大会発表などの直前の場合は活動を認めています。

また、定期試験の1週間前から試験終了までは、クラブ活動は原則禁止です。クラブと勉強の両立をはかるように指導しています。

8. 補習について教えてください。

P.16「進路指導計画」のように長期休暇中と平常の補習があります。長期休暇中の補習には基礎補習と進学補習があり、基礎補習は、1年生の夏休みと冬休みに英語、国語、数学について行っています。また進学補習は、1年生の夏休みから英語、国語、数学について行っています。さらに2年生の冬休みからは理科、3年生では社会も含めて行っています。

平常の補習は、P.6「時間割例」のように3年生の7時間目に、センター対策や二次対策などの進学補習を行っています。その他、教科によっては時期を限定して特定の単元について補習を行ったり、生徒の要望に応じてその他の時間帯に行ったりすることもあります。また個別指導による受験対策も充実しています。

入試カレンダー

- 6月15日(土)** 午前：一般中学生対象第1回学校説明会
午後：附属中学3年生対象プレオープンスクール
- 9月22日(日)** 午前：附属中学生対象オープンスクール
午後：一般中学生対象第2回学校説明会
・オープンスクール
- 11月2日(土)** 午前：一般中学生対象入試説明会
- 1月** 連絡進学入試(附属中学校対象)
- 2月** 一般中学入試(一般中学校対象)

本校の入試について

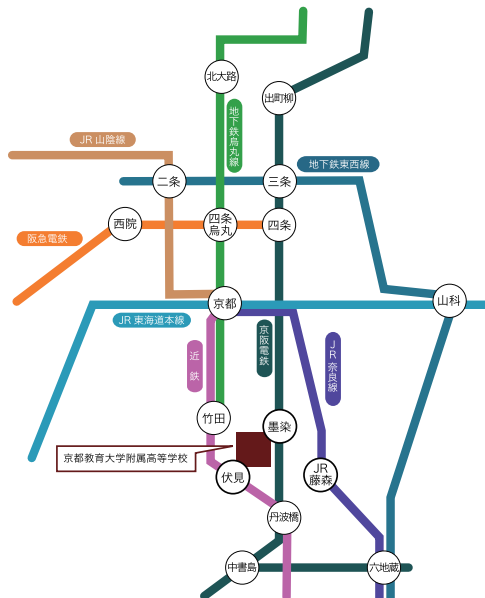
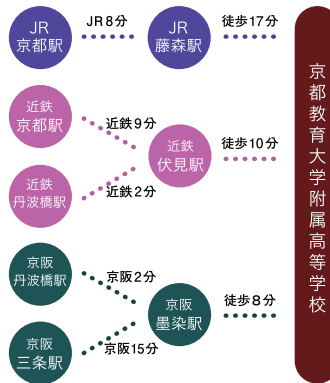
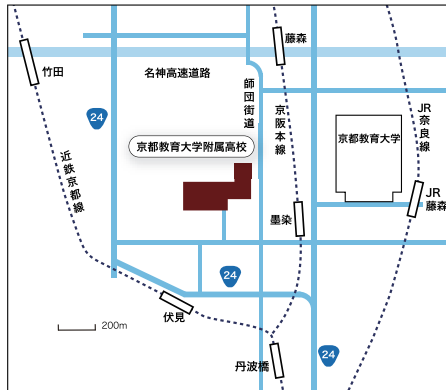
【一般中学入試選考方法】

学力検査と報告書を総合して選考します。
検査科目：国語・社会・数学・理科・英語
(募集要項は、9月頃発表します)

【説明会について】

- 各回の内容は異なります。
- 一般中学校の中学生・保護者の方を対象としていますが、先生の参加も可能です。
- 各回とも個別相談等の時間を設けています。

MEMO



京都教育大学附属高等学校

〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町111 tel.075-641-9195 fax.075-641-3871

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/koukou/> E-mail:kfkou1@kyokyo-u.ac.jp